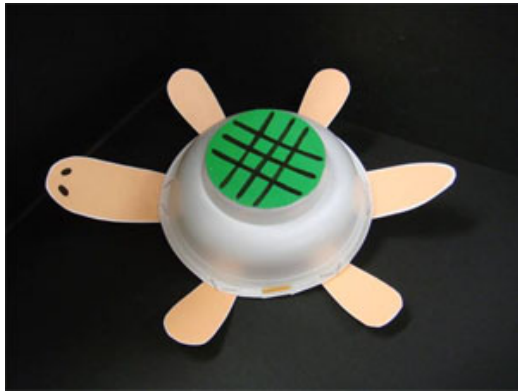


100 こころろさん



扱う自然事象	ゴム, おもり
材料	カップめんなどの容器1本, 輪ゴム1本, 油粘土, たこ糸1本
用具	はさみ, ホチキス
つくり方	(1) カップめんの容器の両端に2つずつ, 切り込みを入れる。切り込みは1cm程度の間隔をあける。 (2) 輪ゴムを真ん中で玉結びし, たこ糸を巻きつける。(たこ糸を巻きつけることで, 粘土と輪ゴムとの間にすきまが出来にくくなる。) (3) 粘土をつけて, 形を丸く整える。 (4) 輪ゴムの両端をカップめんの容器の切り込みに引っかける。
遊び方	・カップめんの容器を持って, 床につけたまま手前に引き手を離すと, 体を揺すりながら進む。

材料の手に入りやすさ 普

つくりやすさ 普

製作時の工夫

- ・容器の大きさや重さを変える。
- ・粘土の大きさを変える。
- ・粘土の形を変える。
- ・輪ゴムの長さや太さを変える。
- ・輪ゴムを2重, 3重にする。

遊び方の工夫

- ・手前に引く距離を変える。
- ・どこまで進むか距離を競う。

予想される子どもの気付き

- ・コトコトと音を立てて進むよ。
- ・体を揺すりながら進んで, かわいいよ。
- ・手前に長く引くと, たくさん進むよ。
- ・勢いをつけて引っ張ると, 粘土とゴムとの間にすきまができて, あまり進まないよ。
- ・手前に巻きつけられた輪ゴムが, もとに戻ろうとする力で進んでいるよ。
- ・粘土は丸くないと進まないよ。
- ・輪ゴムが長すぎると進まないよ。
- ・容器は軽いほうがよく進むよ。

製作時間の目安 10分

参考文献

- 1) 竹井史郎, 『やさしいこうさく第9巻 スチロールのこうさく』, 小峰書店, 1992年, p.24
- 2) 教師用指導書, 『たのしい せいかつ 下・だいすき 資料編』, 大日本図書, 2002年, p.70